

# 3年生 進学講演会

令和元年5月23日

- 1 場所 本校体育館
- 2 講師 駿台予備学校 名古屋校校舎長 西尾年史 氏
- 3 演題 「今こそ、第一志望はゆずれない」
- 4 内容

## 《大学入試の現状》

- ・受験人口、浪人人口は減少傾向にある。  
つまり、「大学に入る」チャンスは増えている。その中で「自分が行きたい大学に入る」ことを目指そう。
- ・難関大学を中心に、後期廃止の流れがある。
- ・2021 年度入試から大学入試が変わることもあり、安全志向・地元志向は継続。だからこそ、チャレンジを！  
前期で第一志望出願を！
- ・私立文系の志願者が増加。一方で、定員の厳格化により合格者数は抑制される。

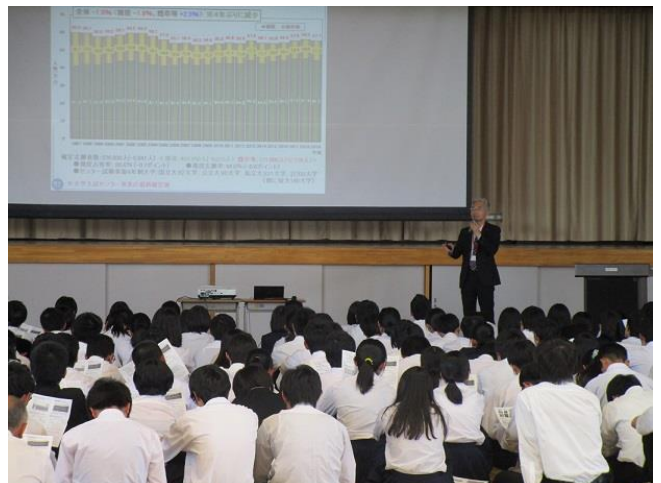


## 《納得受験をめざして》

- ・大学入試までの人生より、大学入試後の人生の方が圧倒的に長い。その長い方の人生に大きく影響を与えるのが大学入試である。後悔をしない、納得のいく大学受験をしてほしい。
- ・大学受験は自分の可能性を広げるチャンスである。受験は親離れの機会と考え、受験を通して自立する覚悟を持つとう。
- ・志望校を決めたら志望を貫こう。諦めないからこそ成長できる。また、志望校に相応しい努力を継続しよう。
- ・センター試験の受験科目を私立型（3科目）に絞ってしまうと、その年の問題の難易度による影響を大きく受けることになる。安きに流されてもいいことはない。また、センター試験は文系科目が初日に、理系科目が二日目にあるため、「文系（理系）科目が全体的に苦手」という状態で臨むと苦しい。全科目をまんべんなく学習しておくことが大切。
- ・センター試験も、難関大学の問題も、求める力は同じ。

それは、「基礎的な知識とそれを有機的に結びつける力」

である。その力を身につけ、磨くためには、学校での学習をまず第一にしよう。学校中心の勉強を仲間とともにやること、模試をうまく活用し、知識の定着度や活用方法を繰り返し確認することが、力をつけるためには必要である。



問いかけを交えながら楽しくわかりやすくお話ししてくださり、受験に対して前向きに取り組んでいこうという気運が高まりました。